

平成30年度第72回栃木県芸術祭美術展審査結果（工芸部門）

○応募総数	76点	[	73点]	
○入賞点数	10点	[	9点]	
○入選点数	64点	[	63点]	* [ ]内は昨年度

〔審査寸評〕

多種多様な方法、表現が特徴の工芸が、今回よりいっそうタブーであった事も長所に展開し、自由に制作を愉しんでいる様な感があった。前回より出品が増えたことは、創作に携われる環境が遠のく中、安堵した。違う事の自由な発想の領域が工芸の魅力を広げているように思われる。日々、感性は微妙に振幅する。創作し続ける事を希望する。

芸術祭賞の「明日ん、天気はどげんじゃろか？」は人形の作品。二人を配置した構成、それぞれの表情など、自然体で表現されており、夫婦であろう二人の農作業に対する日々の喜びや希望を感じさせられると共に、二人の夫婦愛までも感じるほのぼのとした作品で、多くの共感を得た。

準芸術祭賞の「花火」は、木の自然の色彩を活かして構成し、花火のイメージを楽しく感じさせる作品。花火の部分がもう少し強調出来ればよりすばらしい作品となったと思う。次の作品も楽しみ。

同じく「飴釉鉢」は、飴釉の大鉢。釉のサエ、素直に伸びたロクロの技は見る者を圧倒する。鉢の中もブレがなくしっかりとした作りが審査員を魅了した秀作の一点。これを機に更なる上を目指してほしい。

U25賞の「家族」は、細かい織りと色調の変化で家族の顔を表情豊かに形づくり、暖かみのある作品になっている。これからの制作が期待される作品。

〔入賞者名〕

○芸術祭賞

おち 落	あい 合	さだ 貞	こ 子	(宇都宮市)	あした てんき 「明日ん、天気はどげんじゃろか？」
---------	---------	---------	--------	--------	---------------------------------

○準芸術祭賞

あい 相	かわ 川	たか 隆	ゆき 行	(足利市)	はなび 「花火」
かわ 川	しま 島	いく 郁	ろう 朗	(益子町)	あめゆうはち 「飴釉鉢」

○芸術祭奨励賞

おお 大	ぼ 場	さち 幸	よ 代	(那須塩原市)	めん 「面」
す 須	どう 藤	たけ 武	お 夫	(栃木市)	そうりつ 「相立」
ふせ 伏	ぎ 木	かず 和	こ 子	(野木町)	どとう 「怒濤」
たか 高	はし 橋	たか 孝	あき 聡	(栃木市)	ほとばし 「迸る」
ふじ 藤	た 田	ち 千	ぐさ 種	(那須塩原市)	わぐちたばねあみはなご 「輪口束ね編花籠」
ふく 福	しま 島	しん 晋	べい 平	(益子町)	はくゆ 「白釉しのぎ鉢」

○U25賞

おぎ 萩	わら 原	く 久	み 実	(宇都宮市)	かぞく 「家族」
---------	---------	--------	--------	--------	-------------

平成30年度第72回栃木県芸術祭美術展審査結果（書道部門）

○応募総数	319点	[ 317点]	
○入賞点数	14点	[ 13点]	
○入選点数	200点	[ 203点]	* [ ]内は昨年度

（審査寸評）

全体的に突出した作品はないが、堅実で個性的なものが多かった。

作品構成もバラエティーに富んだものがあり、墨色紙面構成に工夫が見られて楽しい展覧会になると思う。

芸術祭賞の「正念」は漢字少字数の作品。漢字二字「正念」を古代文字金文で堂々と作品化している。濃墨を使った表現は強い筆力によって観る者に感動を与える快作である。

準芸術祭賞の「白木蓮」は漢字かな交じりの作品。中央の大字「一華一佛の華嚴」が堂々として座り、左右の小書きが爽やかにそれと調和している。リズムカルで堂々とした作品である。

同じく「晩春」は漢字多字数の作品。五言律詩40字を三行に楷書で書した。磨き抜かれた書線に迫力があり、空間に詩情がある。

U25賞の「王漁洋詩」は漢字多字数の作品。漢字作品にリズムを、墨色、結体でよく表現している。感性のあふれた佳作であり、将来が楽しみである。

〔入賞者名〕

○芸術祭賞

はな つか こう よう  
花 塚 香 陽 (さくら市) 「正念」  
しょうねん

○準芸術祭賞

わた なべ し ほう  
渡 邊 司 寶 (鹿沼市) 「白木蓮」  
しろもくれん  
かみ なが せつ か  
神 長 雪 華 (矢板市) 「晩春」  
ばんしゅん

○芸術祭奨励賞

こ ばやし こう ふう  
小 林 香 風 (栃木市) 「本多猗園詩・晩涼」  
ほんだいえんし ばんりょう  
こ ばやし よう こ  
小 林 庸 子 (栃木市) 「兵無常勢」  
へいにじょうせいなし  
しら い くん えん 苑  
白 井 薫 苑 (栃木市) 「菜根譚」  
さいこんたん  
ひら まつ よし か  
平 松 芳 華 (宇都宮市) 「窮理盡情」  
きゅうりじんじょう  
まつ もと す み よ  
松 本 純美代 (小山市) 「張協詩」  
ちようきょうし  
うじ いえ しん こう  
氏 家 真 鴻 (栃木市) 「高詠詩」  
こうえいし  
げ し こう せつ  
下 司 香 雪 (宇都宮市) 「宿玉川駅」  
たまがわえきにやどる  
おお たけ き せん  
大 竹 汎 泉 (佐野市) 「過臨江訪彭聲之」  
りんこうをすぎてほうせいしをとう  
かみ むら せん しょう  
上 村 千 嶂 (足利市) 「朱恬焮詩」  
しゅてんかんし  
いの うえ ゆき え  
井 上 幸 枝 (下野市) 「妹がため」  
いも

○U25賞

つく い すい せい  
筑 井 慧 星 (埼玉県熊谷市) 「王漁洋詩」  
おうぎょようし